

クリアミストプラスのクロストリジウム・ディフィシルに対する殺菌効果試験

—試験報告書—

試験番号:217250N

株式会社 食環境衛生研究所

〒379-2107

群馬県前橋市荒口町 561-21

Tel027-230-3411

Fax027-230-3412

1. 表題

クリアミストプラスのクロストリジウム・ディフィシルに対する殺菌効果試験

2. 試験番号

No.217250N

3. 目的

試験資材であるクリアミストプラスとクロストリジウム・ディフィシルを反応させた時の殺菌効果を
確認するために実施した。

4. 試験管理組織

試験依頼者の名称、所在地及び担当者氏名

名称 株式会社 ハセガワ

所在地 〒142-0063 東京都品川区荏原 1-24-36

実施機関の名称、所在地及びその長の氏名

名称 株式会社 食環境衛生研究所

所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21

氏名 代表取締役 久保 一弘

試験実施責任者の氏名

松本 彰平

5. 試験スケジュール

試験受託日 2021年6月24日

試験開始日 2021年7月12日

試験終了日 2021年7月20日

6. 試験資材

クリアミストプラス

7. 供試微生物

クロストリジウム・ディフィシル: Clostridium difficile JCM1296

上記微生物を GAM 培地にて前培養し、滅菌精製水にて約 10^8 cfu/mL の濃度に調製したものを試験菌液とした(栄養状態での試験)。

8. 区の設定

| 区 | 処置 | 感作時間 |
|-----|--------------------------|--------------|
| 対照区 | 対照資材 10mL に試験菌液 0.1mL 添加 | 試験開始後 0、15 秒 |
| 試験区 | 試験資材 10mL に試験菌液 0.1mL 添加 | 試験開始後 15 秒 |

9. 参考

「JIS Z 2801(抗菌加工製品-抗菌性試験方法・殺菌効果)」及び石炭酸係数法を参考として実施した。

10. 試験手順

①微生物検査方法(試験液の細菌数測定)

試験液を、滅菌生理食塩水で適時希釈し、GAM 寒天培地で培養した。培養は、嫌気条件下で 35℃24～48 時間行い、培養後に発育した集落を計数して当該菌数とした。

②試験方法

試験資材及び対照資材を滅菌試験管に入れ、資材 10mL に対し試験菌液を 0.1mL 添加してよく混合した。

試験設定に従い、混合直後及び室温で一定時間反応させた後、残存する生菌数を微生物検査方法に従い測定した。

11. 試験結果

試験結果を下表1に示した。

対照区については試験開始時から終了時まで同数となり、1200000CFU/mLであった。

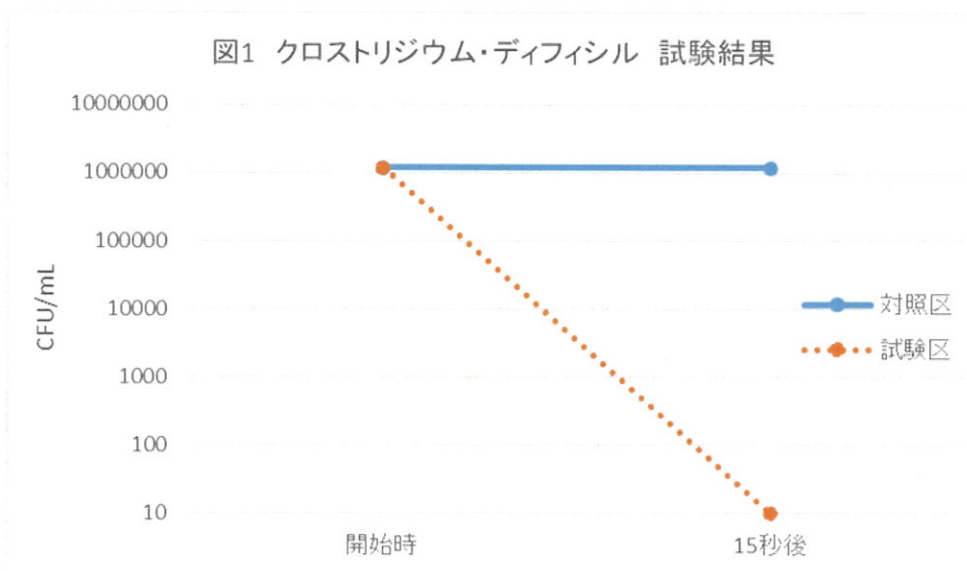
試験区では、試験開始15秒後には<10CFU/mL未満(検出下限未満:99.999%以上減少)となった。

表1 クロストリジウム・ディフィシル試験結果

| 区 | 資材 | 生菌数(CFU/mL)※ | |
|-----|------|--------------|---------|
| | | 開始時 | 15秒後 |
| 対照区 | 対照資材 | 1200000 | 1200000 |
| 試験区 | 試験資材 | | <10 |

※3 試行の平均値

<10:検出せず



12. 考察

試験の結果、試験資材とクロストリジウム・ディフィシルを接触後 15 秒で 99.999%以上の顕著な除菌効果が得られるものと判定された。